

薬を扱うなら
知っておきたい！

薬剤経済 はじめの一步

contents

はじめに

基礎編

1 薬剤経済学とは	10
1. 医療の経済評価はなぜ必要か	10
▶ 国民医療費 ▶ 医療における経済評価	
2. 医療経済と薬剤経済の違い	14
3. 費用対効果の考え方	15
▶ 完全な経済評価 ▶ 経済評価の手法 ▶ 費用効果分析	
4. 増分費用効果とは	18
▶ 増分費用効果の考え方 ▶ 増分費用効果の日常例	
5. 投入と結果を比較する	19
▶ 費用比較分析の考え方 ▶ 費用効果分析の考え方 ▶ 費用便益分析の考え方	
6. 分析の立場	21
▶ 経済評価の目的は立場で異なる ▶ 経済評価でよく用いられる分析の立場	
7. 薬剤経済学にかかわる人たち	23
◆ 確認問題	24
Columns 疫学者と医療経済学者の考え方	26

2 病気に関するお金の話

27

1. 病気の値段とは	27
▶医療費（直接費） ▶非医療費 ▶生産性損失（間接費） ▶心理・感覚的負担	
2. 医療費の推計について	30
▶国民医療費からの推計 ▶レセプトデータからの推計 ▶疾病医療費の区別	
3. コストとチャージ	34
4. 患者・家族の負担	36
▶専門家調査と患者調査 ▶患者調査の手法	
5. 生産性損失	37
▶生産性損失の機会 ▶アブセンティズムとプレゼンティズム ▶人的資本法と摩擦費用法 ▶うつ病の社会的損失の推計 ▶生産性損失データの活用	
6. 支払い意思額	40
▶支払い意思額の推定 ▶医療サービスへの投入額	
7. 国民医療費を減らすために	42
▶投入額と削減額 ▶削減額は意識されにくい ▶膨れ上がる国民医療費 ▶機会費用による医療費削限 ▶「予防」による医療費削限	
◆ 確認問題	46
Columns 計量経済学による医療費の推計	48

3 薬物治療の効果とは

49

1. 治療効果のあらわし方，比較のしかた	49
▶薬物治療と評価尺度 ▶評価尺度と検定方法 ▶誤差の種類と対処	
2. 真のエンドポイント	53
▶効能と効果 ▶真のエンドポイントを指標とするには	
3. 臨床試験から	55
▶治療効果に関する情報の集め方，使い方 ▶メタアナリシスとネットワークメタアナリシス	

4. QOLによる重み付けQALY	58
▶健康状態の評価 ▶健康状態の直接測定法 ▶健康状態の間接測定法	
▶健康状態で重み付けした生存期間	
◆ 確認問題	62
Columns オッズ比って何だろう	64

4 費用と効果を比べる 65

1. 費用効果分析	65
▶考え方 ▶留意点	
2. 費用便益分析	68
▶考え方 ▶健康の価値	
3. モデル分析	69
▶判断樹モデル ▶マルコフモデル	
4. 感度分析	73
▶データのバラツキ ▶一次元感度分析 ▶トルネード図 ▶確率的感度分析	
5. 割引	75
▶目先のもののほうが価値が高い ▶割引による費用対効果の比較	
◆ 確認問題	78
Columns モデル分析の実際	80

実践編

1 感染症対策の経済評価について 82

- ▶ 不必要な抗菌薬使用の抑制 ▶ MRSA 感染症による増分医療費の推計
- ▶ 抗菌薬適正使用プログラムの効果検証 ▶ プログラム費用を考慮した費用効果分析

2 抗凝固薬の適正使用について 88

- ▶心房細動とワルファリン治療 ▶ニュージーランドにおける研究 ▶タイにおける研究 ▶シンガポールにおける研究 ▶米国における研究

3 糖尿病治療の長期予後について 97

- ▶わが国における糖尿病 ▶経口血糖降下薬の費用対効果 ▶レセプトデータを使った費用推計

4 膵がん化学療法について 102

- ▶わが国における膵がん ▶進行膵がんに対する化学療法の間接比較 ▶マルコフモデルによる費用推計

5 ワクチン接種による疾病予防について 107

- ▶わが国における予防接種 ▶ワクチンの医療経済的評価 ▶高齢者のワクチン接種

6 ビッグデータを使った費用推計 112

- ▶医療情報ビッグデータの活用 ▶1つめのポイント：疾患関連費用の定義 ▶2つめのポイント：医療費の分布 ▶3つめのポイント：年間医療費 ▶4つめのポイント：診断名と病名コード

◆ 薬剤経済学の政策利用（あとがきにかえて） 118

◆ 確認問題正答 123

◆ 参考図書 124

◆ 索引 126